

2022年12月20日
日本銀行
金融市場局

長期国債買入れの買入金額の増額等について

日本銀行では、本日の政策委員会・金融政策決定会合において決定された金融市場調節方針および資産買入れ方針を受け、次のとおり調節運営面での対応を講じることとしましたので、お知らせします。

1. 長期国債の買入れ（利回り・価格入札方式）の買入金額の増額等

（1）2023年1～3月の買入れ

2023年1～3月の買入金額は、「長期国債買入れ（利回り・価格入札方式）の四半期予定（2023年1～3月）」（2022年12月20日）のとおり、月間買入金額が9兆円程度となるように増額します。1回当たりオファー金額は、オファーの都度、市場の動向等を踏まえて弾力的に運用します。

（2）2022年12月末までの買入れ

「長期国債買入れ（利回り・価格入札方式）の四半期予定（2022年10～12月）[一部変更]」（2022年11月29日）で公表した長期国債の買入れについて、12月26日には、予定している残存期間区分別の買入れを、（1）で示した2023年1～3月の1回当たりオファー金額と同程度の規模で実施します。また、12月22日には、市場の動向等を踏まえ、所要の買入れを実施します。

（3）その他の機動的な買入れ

（1）、（2）のほか必要と認められる場合には、各年限において、機動的に、買入金額のさらなる増額や指値オペを実施します。

2. 連続指値オペの運用

(1) 10年物国債のカレント3銘柄を対象とする指値オペの利回り水準

今後^(注1)、明らかに応札が見込まれない場合を除き毎営業日オファーする10年物国債のカレント3銘柄を対象とする指値オペにおいて、買入れを行う利回り水準は0.50%とします。この際、原則として、カレント3銘柄のうち最も利回りの高い銘柄の買入れ利回りが、当該水準となるよう買入れを行います。

(2) チーペスト銘柄等を対象とする指値オペの利回り水準

今後^(注1)、当分の間実施する10年利付国債358回を対象とする連続指値オペにおいて、買入れを行う利回り水準は0.50%とします^(注2、3)。

(注1)2022年12月20日の午後に実施する指値オペから運用を変更します。
なお、買入金額は、引き続き、無制限とします。

(注2)10年利付国債357回を対象とする連続指値オペについても、2022年12月20日の午後に同様に実施します。

(注3)なお、「チーペスト銘柄等にかかる国債補完供給の要件緩和措置について」(2022年11月29日)は、これまで通り実施します。

3. 社債等買入の運用

社債等買入については、2023年9月まで、「コマーシャル・ペーパーおよび社債等買入基本要領」附則4.の一発行体当たりの買入残高の上限を2,000億円、総発行残高に占める買入残高の割合を30%と定めることとします。また、1回当たりオファー金額については、社債の発行環境に十分に配慮して設定していきます。

以 上

<照会先>

日本銀行金融市場局市場調節課 矢野 (03-3277-1234)、粟井 (03-3277-1284)